

「愛」を形にいつまでも 愛の園遊会

黛さんと作者らを招き句碑の完成を祝う



▲句碑を觀賞する参加者たち

愛をテーマに俳句を募集し、優秀作品を石に刻んで保存する「愛の俳句募集事業」。平成14年度に募集した俳句の句碑が

このほど完成し、7月12日、俳人で愛の俳句選者の黛^{まゆずみ}まどかさんと俳句の作者らを招いて「愛の園遊会」が村民の森あいの沢で行われました。

県の地域づくりサポート事業の助成を受け、平成13年度から始まったこの事業。2年目の今回は、平成14年度に応募のあった2、811の俳句の中から黛まどかさんによって選ばれた優秀作品50句を飯館特産の御影石に刻んで句碑を作成、今回の園遊会はその完成を祝うとともに、作者らへのお披露目も兼ねて開催されました。

全国から入選者とその家族ら90人あまりが参加した園遊会では、はじめに記念セレモニー

が行われ、菅野村長、黛さん、横山議長、そして入選者代表として熊本市からこの園遊会に参加した松田明子さんがテープカットを行い、句碑の完成を祝いました。

続いて、黛さんから「愛を形にすることはとても難しいことですが、句碑という姿で愛が形になることは素晴らしいことだと思います」とあいさつがされました。

その後は自由に句碑観賞、吟行会、自由散策となり、参加者らは黛さんと記念撮影をしたり、自分の句が刻まれた句碑を眺めたりして思い思いに



▲交流会のようす

園遊会を楽しんでいました。

続いて、7月にオープンしたばかりの「きこり別館」で行われた交流会では吟行会の結果が発表され、優秀作品10点、佳作10点が黛さんによって選ばれました。うち、村では荒コフさん（飯樋町）の句が優秀賞に選ばれました。